

中長期的に持続可能な経済成長と財政の実現に向けて 参考資料

2021年7月21日

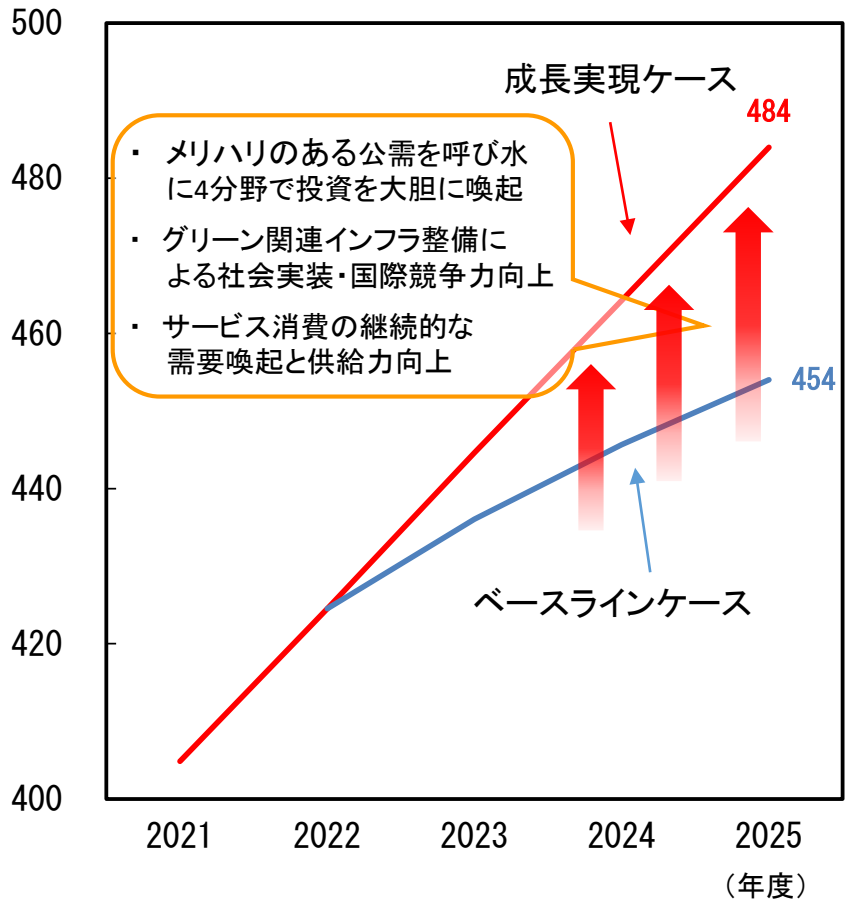
竹森 俊平
十倉 雅和
新浪 剛史
柳川 範之

内外の経済動向

- 実質2%程度の経済成長とデフレ脱却を実現するため、コロナ後を見据え、中長期の抜本的な成長力強化が必要。メリハリのある公需を呼び水に民間投資、民間消費を大胆に喚起するとともに、外需の取り込みを強化すべき。
- 世界的に需要と物価がともに上昇局面に入っており、この機会を逃さず、物価の安定的上昇に向けて、最賃引上げを含め、賃上げモメンタム継続を後押しすべき。

図表1: 民需・外需合計の推移(名目)

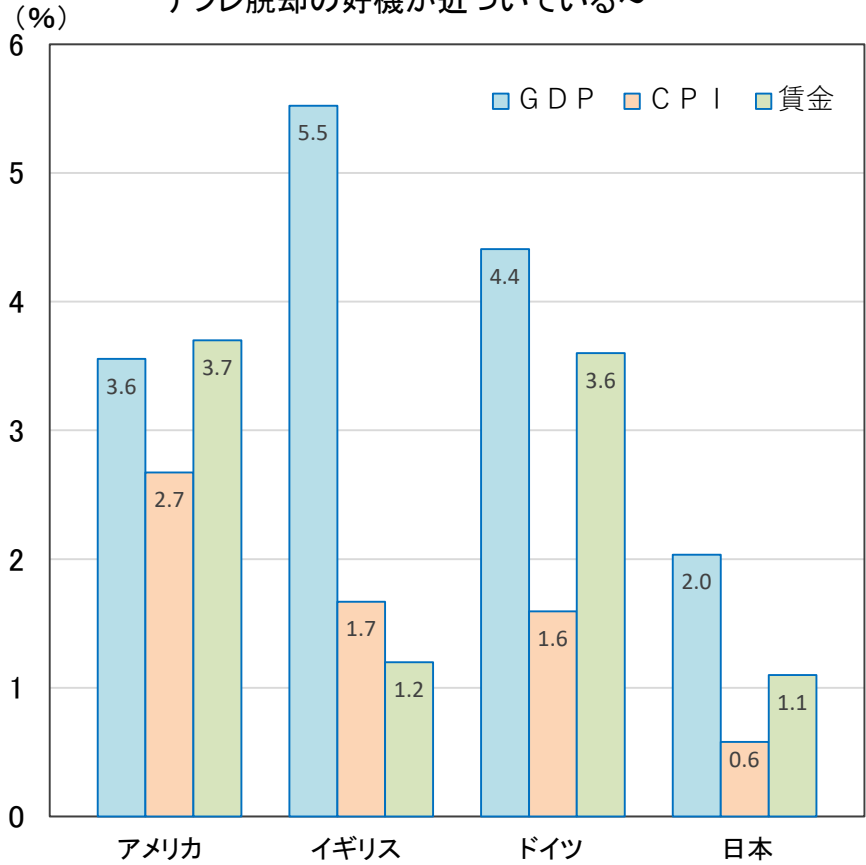
～外需を取り込み、消費・投資を伸ばして、デフレ脱却を実現すべき～



(備考) 中長期の経済財政に関する試算(2021年7月)より作成。

図表2: OECDによる各国の経済見通し(2022年)

～世界的に成長率や物価上昇率の高まりが見込まれ、デフレ脱却の好機が近づいている～



(備考) OECD Economic Outlook No.109 (2021年5月)より作成。GDPは実質、賃金は一人当たり年間賃金(Wage rate)。2022年の伸び率。